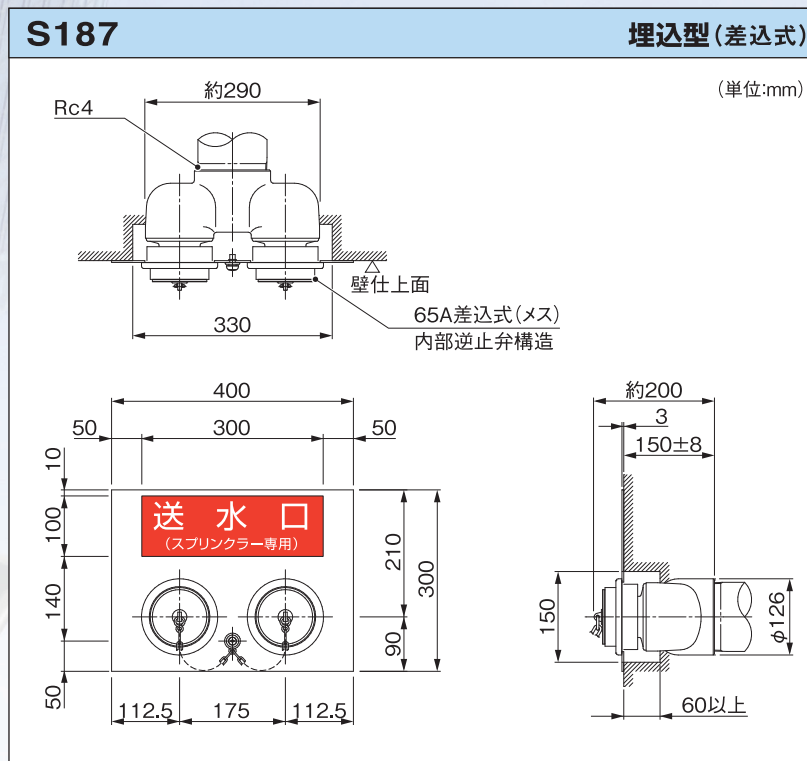
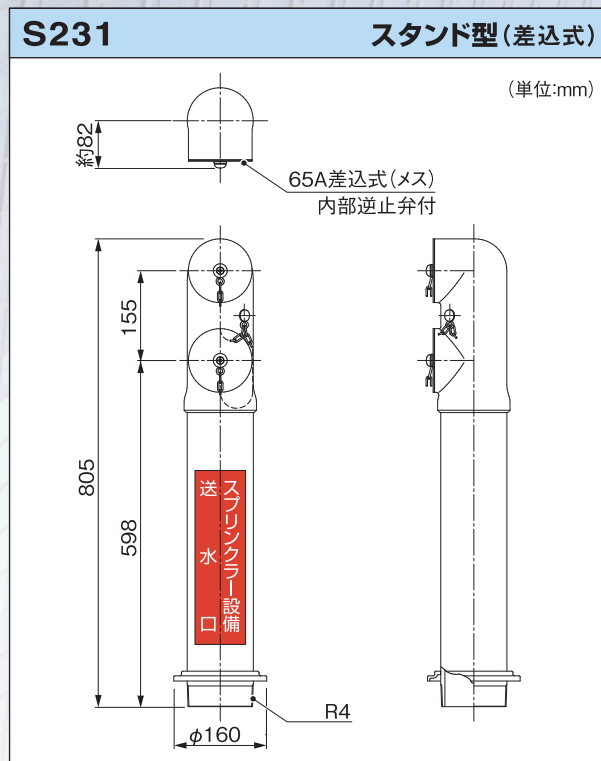
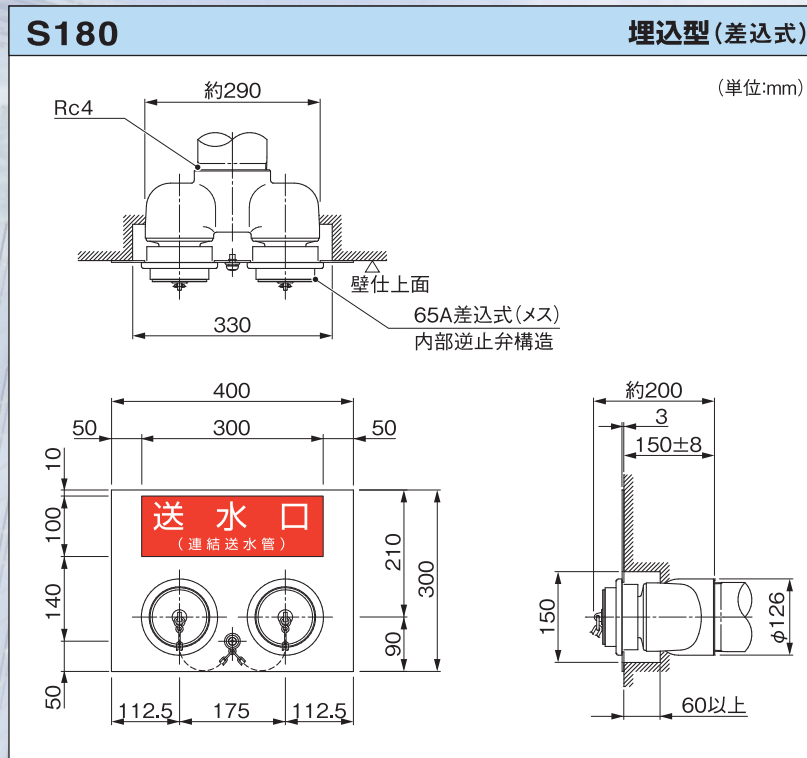
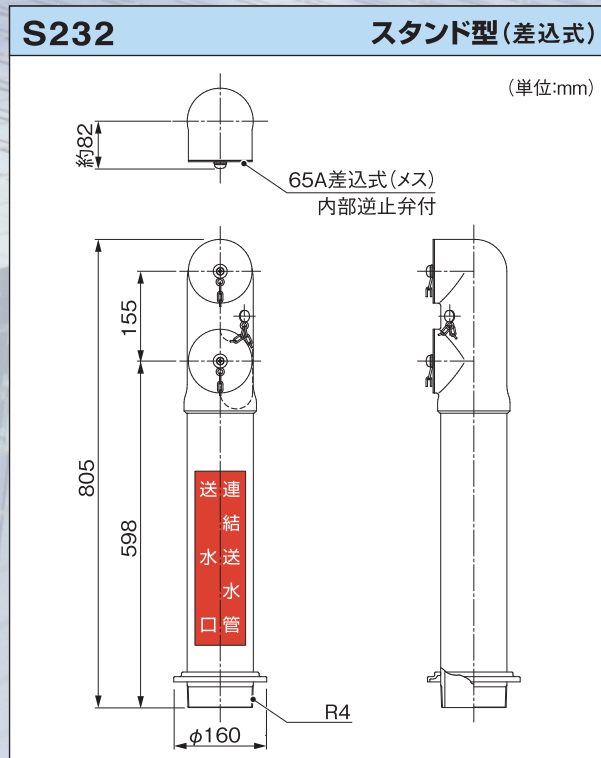


取扱いラインナップ一覧

連結送水管		
縦スタンド型	S232	差込式
埋込型	S180	差込式

スプリンクラー設備		
縦スタンド型	S231	差込式
埋込型	S187	差込式

※上記以外の仕様については、お問い合わせください。



※カタログ掲載商品は改良などのため、予告なく仕様・規格変更を行うことがあります。ご了承ください。

※このカタログは、再生紙を使用しています。

●あらゆる防災設備・機器のご用命は下記へ……………

ヤマトフロテック株式会社

本 社 東京都港区白金台5-17-2

ホームページ <https://www.yamatoprotec.co.jp>



お問い合わせは
こちら

04-038-2006.DAI



火の安心を、つくろう。
Wishing for Your Safety

(連結送水管・スプリンクラー設備)送水口

連結送水管 スプリンクラー設備 送水口

FIRE DEPARTMENT CONNECTIONS

※このカタログは、再生紙を使用しています。※この商品写真は見本品です。

ヤマトフロテック株式会社

FIRE DEPARTMENT CONNECTIONS

連結送水管とは…

消火活動上必要な施設の一つで、消防隊が消火活動を行う際に消火用の水を火災が発生した階まで送水するために、高層建築物、地下街等に設置される設備です。

送水口、放水口、放水用器具格納箱等から構成されており、火災の際には消防ポンプ自動車から送水口を通じて送水し、消防隊が放水口にホースを接続すれば消火活動ができるようにした設備です。



縦スタンド型双口送水口（差込式）



S232
（連結送水管用）

S231
（スプリンクラー設備用）

	ステンレス 鏡面仕上げ
寸 法	100×65×65mm
認 定 番 号	認送-100
質 量	16.0kg
最高使用圧	2.0MPa
試 験 圧 力	3.0MPa

壁埋設型双口送水口（差込式）



S180
（連結送水管用）



S187
（スプリンクラー設備用）

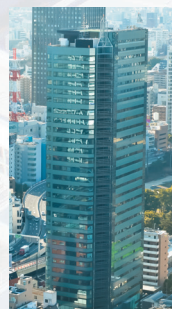
	飾り板 ヘヤライン仕上げ
送 水 口	埋設部:ニッケルメッキ 露出部:クロムメッキ
寸 法	H.300×W.400mm
認 定 番 号	認送-001-1
最高使用圧	2.0MPa
試 験 圧 力	3.0MPa

SETTING OBJECT

設置対象（消防法施行令29条）

●防火対象物の(1)項～(18)項 すべてが対象で、下記のいずれか一つが当てはまれば設置対象です。

- ① 地階を除く階数が7階以上
- ② 地階を除く階数が5階以上、かつ延べ面積6,000㎡以上
- ③ 地下街の延面積が1,000㎡以上
- ④ 延長50m以上のアーケード
- ⑤ 道路の用に供される部分を有するもの
（自走式駐車場の建物、ショッピングセンター屋上駐車場等の自動車の道路）



※上記以外の仕様については、お問い合わせください。

INSTALLATION CRITERIA

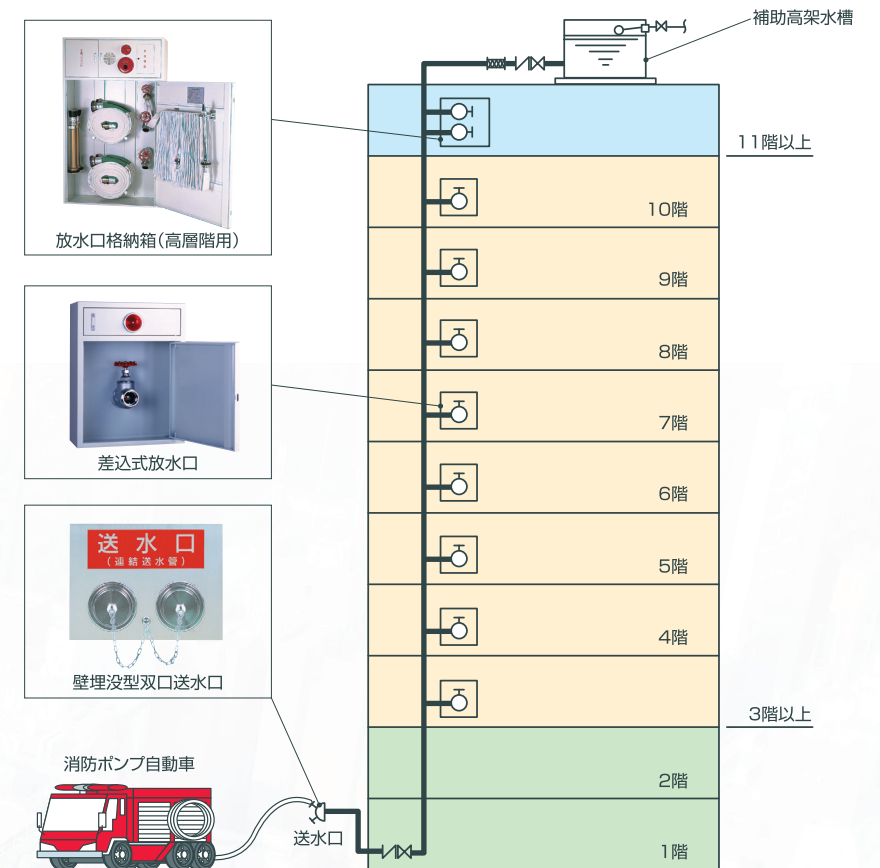
設置基準（消防法施行令29条1～2項）

●送水口の設置基準

- ① 双口形とする。
- ② 見やすい箇所に標識を設ける。
- ③ ホース接続口は、地盤面からの高さが50cm以上、100cm以下の位置に設ける。

●放水口の設置基準

- ① 階段室、非常エレベーターの乗降ロビー、消防隊が、有効に消火活動ができる位置。
- ② 建築物の3階以上、又は地階に設ける。
- ③ その階の各部分から1の放水口までの水平距離は50m以下、アーケードは25m以下とする。
- ④ 11階以上の部分に設ける放水口は、双口形とし、放水用器具を格納した箱を設置する。
- ⑤ 見やすい箇所に標識を設ける。
- ⑥ ホース接続口は、床面からの高さが50cm以上、100cm以下の位置に設ける。



STAINLESS STEEL PIPE

消防用設備SUS配管

連結送水管の配管には、**軽量・長寿命で配管量を削減できるステンレス鋼管(SUS管)が最適です。**
SUS管をSGP管・STPG管の代わりに使用することで、トータルコスト削減につながります。

●消防設備配管に、SUS管を採用するメリット

- 1・ **耐用年数が長い**
長寿命化により維持管理の手間とコストを削減。
- 2・ **圧力損失が少なく、配管径のサイズダウンが可能**
外径が同サイズでも、肉厚の違いから内径はSUS管のほうが大きい。
- 3・ **躯体構造物への荷重負荷の軽減化**
躯体構造物への荷重が軽減されることで、建物への負担も軽減できます。
- 4・ **軽量の加工管による施工効率化**
軽量化により施工性・安全性がアップ。
- 5・ **CO₂排出量の大幅削減で環境にやさしい**
配管を製作・加工する上で排出されるCO₂の排出量が21%～45%削減できます。

